

(参考様式 4 - 1)

山形県庄内町地区活性化計画 改善計画書

令和元年 9 月 2 日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
山形県	庄内町	庄内町	平成 22 年度 ～平成 25 年度	平成 22 年度 ～平成 23 年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
生産機械施設 (育苗施設)	播種育苗ハウス 2 棟 種子冷蔵庫施設 1 棟		山形県庄内町	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備 考
花き(ストック及びトルコギキョウ)の販売量の増加	36.69%	△20.95%	△57.10%	当初計画
花き(ストック及びトルコギキョウ)の販売量の増加	36.69%	△19.13%	△52.13%	改善計画① (H26 年度～H30 年度)
花き(ストック及びトルコギキョウ)の販売量の増加	36.69%	—	—	改善計画② (R1 年度～R4 年度)

2 目標が達成されなかった要因

平成 20 年 3 月に策定した「庄内町花き振興計画」に基づき、増加率を目標値に設定し、目標達成に取り組んできましたが、

①燃料高騰により冬期栽培を控える者がいたことや価格の低迷により、規模拡大が進まなかったこと。

②活性化計画策定以降、自然災害の発生により、ハウスへの浸水や倒壊被害があったこと。

③生産農家数が、高齢化を要因とする離農の影響があり増加しなかったこと。

より、目標達成には至りませんでした。これを受け、平成 26 年度から平成 30 年度までの改善計画書を作成し、引き続き目標達成に取り組むほか、また「庄内町花き振興計画」についても、現状を踏まえて目標を下方に修正する一部改訂を平成 28 年 3 月に行いました。しかしながら、平成 24～26 年頃から本町において土壌伝染性フザリウム病が蔓延し、トルコギキョウが全滅となる生産者も出るなど、出荷量や販売額の大きな減

少の要因となっています。県庄内総合支庁農業技術普及課やJA等関係機関の研究指導を得ながらもなかなか効果的な解決策が未だ見出されておらず、トルコギキョウはもとより、花き栽培自体を辞めてしまったり、離農する農家もいる状況となっています。

その他、従来からの目標未達要因でもある農家の高齢化・後継者不足については、過疎化による若手花き生産者の不在や高齢化、また、同様に高齢化や後継者不足により田を手放したり委託する水稻農家が増え、複合経営に取り組む花き栽培農家にそれら多くの水田が集まり受託することで、花き栽培に手が回らず、規模縮小したりやめてしまうケースが発生していることも原因となっています。また、ここ最近全国規模で発生する異常気象や災害も、例外なく当地でも多発しており、ストックとトルコギキョウ、その他品目においても、暴風や豪雪によるハウス損壊、豪雨によるほ場冠水、また異常高温による生育不良で生産量減少につながっています。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	令和4年度
事業の推進体制	庄内町、庄内町農業指導連絡協議会 庄内町花き振興会
具体的取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ① 県や関係機関との連携を図りながら、継続してフザリウム病による影響減少に向け研究・技術指導を行う。また、土壌消毒資材購入費への助成制度の継続も検討していく。 ② 新規就農や規模拡大について、国庫、県及び町補助事業を活用し推進する。 ③ 災害に強い品種づくりや安定した生産量・品質維持のため栽培指導、補助事業による排水対策等への支援、施設の規模拡大やの周年化利用を支援し、関係指導機関との連携を強化することにより、自然災害に備える体制強化を図る。 ④ 花き試験ほ場導入事業としてトルコギキョウ新品種の実証展示ほ場を設置し、生産者が新品種に取り組み規模・所得拡大を図るきっかけを作るとともに、トルコギキョウ生産者の確保により将来安定的な生産量と販売量の増加につなげていく。 ⑤ 花き試験ほ場を主たる業務とする地域おこし協力隊の任命と将来

	<p>的な就農、(株)庄内町種苗センター社員の雇用並びに研修機会の充実による、高品質の花き種苗の供給に努める。</p> <p>⑥ 燃料高騰や価格の低迷等に向けた栽培技術の強化等、燃料高騰対策や品質向上対策に取り組む。</p>
--	--

4 改善計画に対する第三者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、花きの担い手確保が難しい状況であるが、水稻育苗ハウスを活用したストック・トルコぎきょう等の花き生産は、地域の生産基盤である稲作の重要な複合部門である。このため、技術的課題の解決や規模拡大を推進し、目標達成に向けて取り組むこと。 ・関係機関と連携し、排水対策等の栽培環境の整備や土壌消毒実施に向けた支援など土壌病害対策に取り組むとともに、栽培技術の向上を支援し、面積あたりの収穫量を増やすことで生産量の向上を図ること。 ・花き試験圃場導入事業等の新たな取組みを行いながら、ストック・トルコぎきょうに続く新たな花き品目についても検討し、今後の町の花き振興を推進すること。 ・地域の花き振興においては、種苗センターによる苗供給が欠かせない。このため、優良種苗の安定供給体制を強化し、生産量の増加や品質向上を図る必要がある。 <p style="text-align: right;">山形県庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課主任専門普及指導員 渡部由理</p>
